



編集発行 愛の園後援会 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬 316-56 TEL 0739-47-1234 49-2103 振替 00920-24155

人生の先輩に感謝

会長 上羽 寛

今年の梅雨は、空梅雨かと思ったら、九州地方をはじめ全国各地で記録的な雨が降っています。ここ数年の気候は、あまり季節を感じさせないものがあります。世の中の動向も世界各地で紛争が起り、尊い生命が奪われていて、貧困の格差を生み、弱者の人権が守られていないように思われます。

日本全国には、寝たきりで人のお世話にならないければならない高齢者がゆかねばならない高齢者たちが、多くおられます。家族の温かい手に守られた、幸せな高齢者も居られますが、その大半は働く家族の大きな負担となっています。また一方では、核家族化が進み、独居老人が増えています。十分な介護が受けられず、淋しく独り床に耐えて居ます。

戦後のベビーブーム世代(団塊の世代)は、二〇一五年にすべて六十五歳以上になり、日

本の人口の四分の一を占めます。世界一の「超高齢社会」です。二〇一五年の高齢者介護「高齢者の介護を支えるケアの確立について」という高齢者介護研究会の研究報告書の中で、高齢者介護の基本理念として、「高齢者の尊厳を支えるケア」をあげています。人と人の関わりにおいて、高齢者を「人間らしく」尊重し、人生の先輩として、日々の生活を共にする。当り前のことだと思ふ。今の世の中、当たり前(常識)が通らないことが多くある。我々が生んだ「負の遺産」かもしれない。



秋の遠足 (円月島)



豆まき

最後に、愛の園及び、後援会に長年にわたり絶大なご尽力、ご支援をいただいた、松本一郎氏が退任されます。深甚なる感謝を申し上げます。また、愛の園の母体である神愛修女会も解散されました。深甚なる感謝を申し上げます。修女会の理念を継続していきたいと思ひます。

感謝をこめて

理事長 宮崎 修女

「愛の園後援会の皆様」お変わりなくいらつしやいますか。

「愛の園大家族」をいつも温かく見守り続けて下さっている事に心から感謝申し上げます。お一人ひとりに、直接お会いしお礼申し上げられないのが本当に残念でなりません。後援会の方達のお心がいつも愛の園と繋がって下さる事が、どれ程私達の支えとなつていくか分かります。その時、私達の手ではどうにもならない必要な事が起こってきます。その解決の為、皆様が温かい援助の手を差し伸べ、愛の園を守って下さっています。感謝です。5月の後援会役員会で、今年度も、入居者の方々が楽しみにしている「二日我が家(敬老の日)の催し」で訪問。会を盛り上げて下さるとの事、又今年度の後援会費の使途として、一般浴槽を、横になったまま入浴出来る浴槽に改修する為に用いられる事に決定。その浴槽は、お身体が不自由になつた方達にとってこの上無い朗報。職員にとつても無理の行かない入浴介助が出来ることは、何と有難いことかと、感謝

で一杯になりました。皆様が納めて下さる、温かいお心がぎゅつと詰まつた会費で、今年も素晴らしい贈り物を頂きます。今から楽しみでなりません。愛の園も「ユニット形式」になって七年目になります。『五年経つとその人の足跡がつく』と言われていますように、任された持ち場で、夫々が暗中模索で頑張り、協力し合つて愛の園としての「ユニット形式」を皆で造り上げていく過程は本当に貴重なものです。私心のない奉仕の気持ちで日々頑張つて下さる職員があり、より働き易くなるよう温かい手を差し伸べて下さる後援会の方々が、愛の園は本当に恵まれています。今、私たちは手、足を使つて誰かの為に働ける。誰かの為に援助出来る。その私達は見えぬ処で大きく支えられているに違ひありません。私は次の詩を知つた時に、ああ、これだ！と身に沁み込みます。紹介させて頂く「神は最後に一番よい仕事を残して下さる。それは祈りだ。手は何も出来ないけれども、最後まで合掌出来る。愛するすべての人の上に、神の恵み

を求めるために」手を使つて育てられ、手を合せて祈つてもらつている中に、幸せな

見よ、兄弟が

園長 武藤 直 二一

「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び。」これは教会の礼拝で歌われる聖歌のひとつです。聖書の中の「詩編第一三三編」を基にして歌詞が作られた八小節だけのとても短い聖歌です。愛の園では、一か月に二、三回、マリア会という集いが開かれていいます。マリア会はチャプレンである山根貞夫司祭と私とで担当し、聖書や唱歌を聞いたたり、童謡や唱歌を中心にした皆さんの好きな歌を歌つたりおしゃべりをしたりする集いです。会の終わりに山根司祭が入居者の皆さん一人一人を巡つて頭に手を置き、神様の祝福をお祈りしています。「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び。」



「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び。」これは教会の礼拝で歌われる聖歌のひとつです。聖書の中の「詩編第一三三編」を基にして歌詞が作られた八小節だけのとても短い聖歌です。愛の園では、一か月に二、三回、マリア会という集いが開かれていいます。マリア会はチャプレンである山根貞夫司祭と私とで担当し、聖書や唱歌を聞いたたり、童謡や唱歌を中心にした皆さんの好きな歌を歌つたりおしゃべりをしたりする集いです。会の終わりに山根司祭が入居者の皆さん一人一人を巡つて頭に手を置き、神様の祝福をお祈りしています。「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び。」

私たちがある事を感謝したいですね。感謝を込めて。

「リフレッシュ」 ショートステイ利用者 ご家族 U様

シヨートステイを利用させていたただいている者の家族です。四世代同居の家族で、賑やかなものでした。だから老いる人の世話は当然の事だと思つていましたので、四人を自宅で看取りました。

この体験からこれからもどうにかなるだろうと思つていました。認知症については、他人事と深く考えていませんでしたので、早く進んでいくのにはびっくり。介護の方法も色々教わりましたが予期せぬ事の毎日でした。 ケアマネさんの訪問を受け、これから先の事を考えるに休息も大事かと思ふようになり、妹の助けもあつて愛の園でお世話になる事になりました。心配していましたが送つて行くと、職員の方々の笑顔と声かけで機嫌よく入つて行くので安心しました。又、迎えに行つても妹の「さあ、気いつけてな、又おいでよ」の声に玄関を出て車の方に歩いて行くのを見て、職員の方々に良くしていただいている毎日が何い知れず。 私は、花や野菜作りが大好きですので、リフレッシュ出来る時間をいただく事で又元気が出ます。これからもよろしくお祈り申し上げます。

「追想」

後援会役員 寺前裕章

昨年度より、上羽会
長より本後援会役員の
お勤めをいただき若輩
ではあります。務めさ
せていただくことな
りました。どうぞよろ
しくお願いいたします。

愛の園には、八年
前、園がまだ岩田にあ
るころ、わずか数日間
でしたが父がお世話に
なりました。そう何度も
訪問したわけではあり
ませんが、園に
入ると感じるアット
ホームな雰囲気と、以
前にお世話になってい
た施設に比べ自宅の近
くということも安心感
をもてました。母は親
しい友人が長らく入居
されているので親近感
をもっており、ようや
く父がこちらに入居で
きたことを喜んでおり

私の楽しみ

入居者 佐々木とみ

今年の4月より愛の園
でお世話になっていま
す。若い頃にお花の先生を
していたこともあり、入
居後も皆さんにお手伝
いして頂きながら、お花を
活けてユニット前と1
Fエレベーター前に飾っ
てもらっています。

それほど世の中のこと
はわかりませんが、お花
というのは夫婦みたいな
ものです。合うようにす
れば綺麗に見えるし、合



1日我が家(ちんどん屋)

90歳を超えても目標の
持ち、これからも趣味の
ひとつとして皆さんの助
けをお借りしながら楽し
くお花を活けていけたら
と思います。

わかないものは生き生きし
てきません。

意欲を持って

訓練室主任 太田剛史

愛の園では、入居され
た一人ひとりに対して、
ケアプランや個別機能訓
練計画等を作成されてお
り、私共職員は、そのプ
ラン通りに皆様方の生活
を支援させて頂いていま
す。

訓練室は、昭和47年愛
の園開設より食堂の一角
でマット2枚から始まり
ました。それから10年
後、深田理事長よりリハ
ビリの重要性を言われ、
訓練室(約10m×12mの
スペース)が完成しまし
た。この広い空間で、毎
日100名近い方が利用
されています。現在、
新施設ができて7年、3
階建てになり、3階↓2
階↓1階と順にリハビリ
を行っています。

とです。意欲のない方と
ある方が同じリハビリを
しても効果は全く違いま
す。以前、認知症の方が
転倒して大股頸部骨折
で手術しましたが、その
方は、帰りたい。と意欲
のない方で、手術後すぐ
に、足を引きずりながら
自分から歩行を行い、
一ヶ月後には歩行できる
ようになりました。入居
されている方は色々な障
害をお持ちです。出来な
いところは職員が介助さ
せて頂いていますが、出
来る事は意欲的にご自身
でして頂く様お願いして
います。

昔の思い出

デイサービス利用者 宮本照男

私は大正十五年、六
人兄弟の次男として旧
岩田村に生まれました。
父が和歌山市の興紀銀
行に通勤する為、学生時
代を田辺の中屋敷で過
ごしました。当時の屋敷
町は今と比べても多く
の家が建ち並んで活気
があり、旧制田辺中学の
旧制田辺中学の学生で
あり、毎朝散歩中の南方
熊楠翁に出会う事もよ
くありました。学校の校
医をされた同級生と
先生の和中的同級生と
いう事もあり、熊楠さん
には可愛がって貰った
時代でした。

事を覚えています。そん
な怖い人ではなく、子供
にはいつも声をかけて
くれる優しい人でした。
そのうち戦争が始ま
り、西明石の川崎航空に
学徒動員で駆り出され
ました。当時田辺家政女
子の学生がこの地で空
襲を受けて亡くなりました
ことは忘れられません。
私も終戦の年二〇歳で
徴兵検査を受け、もう
少し戦争が長引けば戦
地へ赴くところでした。
いい思い出も色々あり
ましたが、そんな大変な
時代でした。

2013年度愛の園後援会 会計報告

Table with 4 columns: 借方 (科目, 金額), 貸方 (科目, 金額). Includes items like 現金, 郵便振替貯金, 普通預金, 当期欠損金.

会員状況

Table with 4 columns: 地区, 2012年度 会員数, 2013年度 会員数, 前年比. Lists regions like 田辺市, 上富田町, 白浜町, etc.

愛の園後援会 収支計算書 (2013/4/1 - 2014/3/31)

Table with 4 columns: 借方 (科目, 金額), 貸方 (科目, 金額). Includes items like 前期繰越金, 会費, 雑収入, 雑支出.

会員納入状況

Table with 4 columns: 地区, 2012年度 納入人数, 2013年度 納入人数, 前年比. Lists regions like 田辺市, 上富田町, 白浜町, etc.

役員退任のご紹介

永年に渡り後援会の
役員をお引き受けくだ
さいました、松本一
郎様のご退任されまし
た。会長や会計監査と
して後援会にご尽力く
ださいました。紙面を
お借りしました。お礼申
上げます。



編集後記

暑い日が続きますが、
会員の皆様にはお元気で
お過ごしのこととお慶び申
上げます。

さて、昨年の後援会事
業は、恒例の一日我が家
の催し物でちんどん屋さ
んによるビラ配りに始ま
り、マンドリン演奏、お
琴の演奏、生馬婦人会有
志の皆さんによる舞踊な
どで入居者の皆様や御家
族にお楽しみ頂きました。
クリスマスにも例年通り、
各ユニットにお花のアレ
ンジメントをプレゼント
する事が出来ました。今
年度メインの後援費使途
は居室ケアワーカーから、
最近、要介護の高い方が
増えてきたので、今ある
二か所の寝浴用介護浴槽
がもう一ヶ所増えたと今
までの忙しい入浴からゆ

役員

- 会長 上羽 寛
副会長 玉置 貴彦
会計監査 中井美智子
幹事 笠松 孝司
田辺市 廣瀬 宗一
谷中順次郎
上富田町 平岩チホコ
事務局 堀 美都子
松井 孝恵
寺前 裕章

とりのある入浴になるの
で検討して欲しいとの要
望から、昨年より積み立
てておりました後援費で、
愛の園礼拝堂のシオン会
との協賛で、三階の展望
浴室に設置の段取りをし
ております。次号の「後
援会だより」で浴室の様
子をお知らせ出来ること
を楽しみにしております。
今年度も、愛の園入居
者の皆様に喜んで頂ける
様会員の増員に取り組ん
で参りたいと思えます。
会員の皆様からも入会の
お声かけ並びに会費の納
入を宜しくお願い申し上
げます。
詳しくは「愛の園後援
会事務局」までご連絡下
さい。
愛の園後援会事務局
0739
47-1234 (堀)